

第4回広野町議会定例会 “幸せな帰町”への道のり

平成27年第4回広野町議会定例会が12月15日（火）、16日（水）2日間の会期で開催されました。初日の15日に、遠藤町長が第3回定例会以降の町政経過報告を行いましたので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

10月8日、本町を皇太子同妃両殿下が行啓され、ふたば未来学園高等学校の授業などをご視察されました。沿道には約3000人の町民が両殿下を奉迎し、町内が歓迎ムードの中で喜びに満ちあふれました。11月5日告示、15日投票



改選後の初議会

の日程で広野町議会議員一般選挙が執行されました。今回から議員定数が10人となり、立候補者11人が10日間の選挙戦を繰り広げました。結果、町民の付託を受けた。結果、町民の付託を受けられました10人の議会議員が選出されました。11月25日には臨時議会（初議会）が招集され、議長、副議長をはじめとした町の要職が決定いたしました。

12月8日、福島県知事が来町し、議長、副議長同席のもと、下北迫集会所にて放射線相談室の活動状況を視察されました。視察後に来庁された際の懇談の中で、広野町の現状を説明し、理解と力強い支援を求めました。

復興企画課

広野町役場前に建設している公設商業施設の名称につきましても、全国から応募のありました268点の中から9月9日に商工会長、出店業者の代表および町が審査し、「ひろのてらす」に決定いたしました。9月14日から20日にかけて、「あつぱれ！ふたばく未来へ」を合言葉に「国際フォーラム『被災地・広野町から考える』」幸せな帰町・復興に向けて」を開催いたしました。このフォーラムは、町民有志と被災地で活動する専門家から成る「国際フォーラム企画・運営会議」が、手作りで準備を進め、取り上げたテーマも同会議で提案、選定され、被災者の視点に立った幅広いものとなりました。今回の国際フォーラムは、昨年6月に開催した国際シンポジウムで発表された『広野』からのメッセージを受け、本音を交



国際フォーラム『被災地・広野町から考える』

12月2日には、平成28年3月以降の国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険に係る保険税、保険料および医療費一部負担金等の免除措置に対する国の財政支援の継続について、広野町、檜葉町、川内村の三町村合同で厚生労働大臣および復興大臣への要望活動を行いました。

10月2日には、広野町および川内村合同で内閣府原子力災害現地対策本部長と福島県知事に対し、町長、議長名で生活再建支援への要望活動を行いました。10月10日には、檜葉町を会場に、双葉地方の交流イベントである「ふたばワールド2015 inならは」が開催されました。イベント当日は、天候にも恵まれ約8000人の来場があった。

り、大盛況の交流イベントとなりました。10月12日には、二ツ沼総合公園において、公設商業施設「ひろのてらす」のキーテナントのイオン広野店の開店を記念して、町民とイオングループの従業員あわせて約1000人で240本の福島県花のシャクナゲを植樹いたしました。10月18日には、広野町中央体育館において、第21回ひろの童謡（うた）まつりを開催いたしました。当日は、ふたば未来学園高等学校などの町内5団体と埼玉県三郷市立瑞木小学校など町外4団体が童謡などを合唱し、日ごろの練習の成果を披露いたしました。また、広野町童謡大使の眞理ヨシコさんほか3人のゲスト歌手が童謡を歌い、聴衆を魅了しました。客席は観客、出演者で埋め尽くされ、立ち見ができるほどの盛況でした。昨年度に引き続き、童謡まつりに先駆けて入賞

作品の作者を表彰いたしました。11月9日、高木毅復興大臣が来町され、町が「幸せな帰町・復興」を成し遂げるための国による廃炉・汚染水対策、除染・中間貯蔵施設への搬入、風評・風化対策の着実な実施と被災者の生活再建に対する継続的な支援など、10項目を町長、議長名で要望いたしました。

10月24日、ひろの秋祭りの一環として、広野町中央体育館において、「健康まつり」を開催いたしました。保健師による健康相談や食生活改善推進協議会による塩分控えめのみそ汁の試食などを行い、高血圧症状の軽減を図るべく、個々人の健康づくりを啓発いたしました。また、笑いと健康をテーマとして、福島県立医科大学大平哲也教授の講話や落語家三遊亭好太郎師匠の落語を聴き、笑うことは健康に良いことを学び、実践いたしました。



健康まつり

7月に実施した総合検診の未受診者を対象とした総合検診を9月27日、日曜日、保健センターにおいて実施し、約1000人の方が受診されました。今後受診しやすい環境を整備いたします。10月14日から11月17日の日程で、広野町の保育所、幼稚園、小学校、中学校に在籍する子どもたちを対象に、ホールボディカウンタによる内部被ばく検査

12月2日には、平成28年3月以降の国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険に係る保険税、保険料および医療費一部負担金等の免除措置に対する国の財政支援の継続について、広野町、檜葉町、川内村の三町村合同で厚生労働大臣および復興大臣への要望活動を行いました。本町におけるマイナンバー通知カードの配達状況につきましては、当初予定より遅れておりましたが、11月下旬より簡易書留にて順次配達され、1回目の配達を終了したところでありました。

10月10日、秋晴れの下の、保育所で運動会を開催いたしました。当日は、来賓の皆さまにも競技にご参加いただき、子どもたちの歓声と元気な姿に接することができました。9月13日、総合グラウンドにおいて、多くの来賓の方々のご臨席をいただき、広野町消防団、婦人消防隊ならびに東京電力広野火力発電所自衛消防隊参加のもと、「秋季検閲式」を開催



グラウンド・ゴルフを体験する児童館の児童

いたしました。団員の品位および技能の錬磨に努めるため、通常点検および機械器具点検を行いました。10月21日、福島県、本町ならびに双葉地方広域消防本部主催のもと、広野火力発電所構内で、「石油コンビナート総合防災訓練」を開催いたしました。この訓練は、「石油コンビナート等災害防止法」にもとづき、特別防災区域に指定されているいわき市ならびに広野町で2年おきに交互に実施されているもので、実動訓練としては震災後初めて陸上、海上訓練を実施いたしました。11月1日には、本町ならびに双葉地方広域消防本部主催のもと、総合グラウンド周辺を会場に「福島県相双地方総合防災訓練」を実施いたしました。この訓練は、災害発生時における応急対策を迅速かつ的確に遂行できるよう、地域防災体制の確立と町民の防災意識の高揚を図るた